

第4号議案

特別提案

彩の国いきがい大学校友会連絡協議会（県連協）退会について

【提案理由】

いきがい大学は昭和51年に埼玉県老人大学として開校しました。その後、運営を県からいきがい財団に移行し名称変更等を繰り返し、現在の「財団法人いきいき埼玉」の運営で「彩の国いきがい大学」を経て、「埼玉未来大学」に受け継がれ今日に至っています。

川越学園は昭和52年5月に開設され、昭和58年4月1日に「彩の国いきがい大学校友会連絡協議会（県連協）」が発足しました。しかし、令和2年に「彩の国いきがい大学」から「埼玉未来大学」として刷新され、自治会は作られず新規校友会の加入は無くなりました。また、県連協の運営を見直し3大事業・広報活動を取止め、情報交換の合議体となり理事会も情報交換の場となりました。時代の変化から連協の退会、会員数の減少で現在は加入連協 6 連協、1,577 名になりました。

川連協としてはこの2年理事会に参加し様子を見てきましたが、芸能祭がなくなり理事会も各連協の代表者だけの意見交換の場となり意味が無くなっています。コロナ感染拡大の影響もありますが、今後継続して参加しても期待した成果は得られないと判断しました。長年にわたり築いてきた「県連協」を退会することは残念ですが、役員体制の交代時期でもあり令和4年3月31日をもって退会することを提案します。